

情報センサー

◆燃料貯蔵施設を設置

産業廃棄物処理業のクリーンシステム(山形市)は、同市の西部工業団地内にある倉庫や車両基地などとして運用している「CSRステーション」に、燃料貯蔵・給油施設を設置した。

軽油24キロリットル、ガソリン6キロリットルを備蓄可能で、同社の全車両の使用量で換算すると、約1カ月分になるといふ。東日本大震災を教訓とした非常時の燃料確保が狙い。きらやか銀行(山形市)の「きらやか社会貢献私募債」を活用して資金調達した。近隣で災害が発生した際には地域住民に無償提供する方針。